

つくりにしつけみを嫌うつくりもあり、

作ねんいれに念入候えば、下田げたも上田じょうたの作毛さくもになり候事

一あつち所にはよるべく候えども、麦田むきたになるべき

所あつちをば、少すしなりとも見立みたて申すべく候、以来いらいは

れんれん麦田むきたに成候なりえば、百姓ひやくしやうのため大き

なる徳分とくぶんにて、一いち郷麦田きやうむぎたを仕立したて候えば、隣郷りんきやうも

その心付こころづひこれあるものに候事

★下田・上田（げでん・じょうでん）田を等級分けした下級・上級の土地

見立（みたて）見込みをつける、選ぶ、判断する

徳分（とくぶん）分け前、取り高、もうけ

一春秋灸きゅうしゆをいたし、煩わづらひ候わぬように常々つねづねこころ

がけべし、何ほど作しやくに精せいを入れ度たくとぞんじ候

ても、煩わづらひ候えば其年そのとしの作しやくをはずし、身上しんがう潰つぶし

申すものに候間、其心得そのこころえ専せん一いちなり、女房にようぼう・子供こどもも

同然どうぜんの事

一多葉粉吞たはふちん申間まうま敷候、是これは食しょくにもならず、結句けっく

以来いらい煩わづらひに成なるものに候、其上ひま隙ひまもかけ代物だいものも

★灸（きゅう）もぐさによる漢方療法の一つ、もぐさを焼いて病を療治すること

結句（けっく）結局、とどのつまり）代物（だいもの）代金、代銭